

環境トップセミナー In ダイキン工業（株） 滋賀製作所

- ・開催日：2017年10月18日（水）13：30～16：40
- ・見学先：ダイキン工業株式会社滋賀製作所
所在地 草津市岡本町大谷 1000-2 TEL077-563-1151
- ・主催：湖南・甲賀環境協会・参加者 会員32名 行政2名



ダイキン工業(株)様は、24年、25年度に省エネ大賞を、平成24年度に第5回ものづくり日本大賞 総理大臣賞、滋賀県低炭素社会づくり賞など数々の受賞をされています。

今回のトップセミナーでは、世界初の新冷媒R32を採用した家庭用エアコン「うるさら7」の開発ものがたりの中で、負荷を低減しながら、人と空間を健康で快適にすることを目指すダイキングループが、事業を通じて社会に貢献していくための考え方や取り組みについて、講演と工場の見学をさせていただきました。

ダイキン工業（株）様は全社的に省エネの取り組みをされており、現場の知恵を生かしお金をかけず「からくり」などの工夫で、徹底した無駄なエネルギー削減と作業改善に取り組み、従業員全員でその意識を維持する工夫、また、近年注目されています生物多様性の取り組みのプロセスや社員を巻き込む工夫を説明いただき、その後実際に見学させていただきました。開催後のアンケートから、『生物多様性の意義を再確認できた』『うるさら7開発の取り組みについてご苦労等聞かせていただいたことで大変勉強になった』とすべての参加者から感想をいただきました。

◆セミナーのごく一部を掲載させていただきます。

開会の挨拶



湖南・甲賀環境協会
石山会長

受入企業代表のご挨拶



ダイキン工業株式会社滋賀製作所
副所長： 飯田 敏之氏

基調講演

『ダイキングループが事業を通じて社会に貢献していく考え方と取組み』

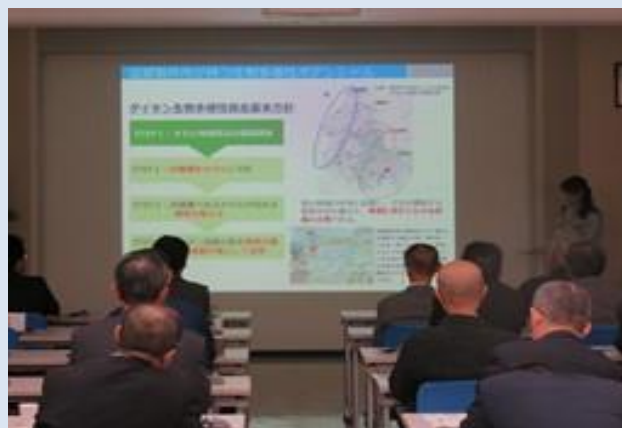
講師：ダイキン工業株式会社 顧問 岡田 慎也氏



うるさら7の開発は、滋賀製作所の部門の壁を越えて皆が一丸となって取組み、地球環境への積極的な貢献と事業拡大に重点をおいた戦略的な計画のもと開発された。今、全世界で使われているエアコンの冷媒（フロンガス）は温暖化係数が高く、発展途上国で爆発的にエアコンが増える中で、このまま放置すれば大変な事になるとの思いから、新たら冷媒（R32）を全世界に普及させる為、うるさら7に世界初採用し併せて、基本特許の無償開放を行うなど、新冷媒を採用したうるさら7の開発ストーリーについて、ご講演をいただきました。開発段階での大きな苦労話、人と人とのすり合わせやマッチングについて興味深い内容でご説明いただき、参加者全員感動いたしました。

◆ダイキン工業株式会社、滋賀製作所の環境の取組み紹介

空調生産本部企画部 川村様



川村様より、環境リスク未然防止のための取組みや、桜エコプロジェクトによる従業員の環境意識向上の取組みのご紹介をいただきました。

ダイキン工業（株）滋賀製作所の敷地には工場排水の池があり、池の水を利用した「ダイキン滋賀の森」（ビオトープ）があって、生物多様性保全による地域生態系の構築がなされ、工場内に再現した自然の姿となっている。

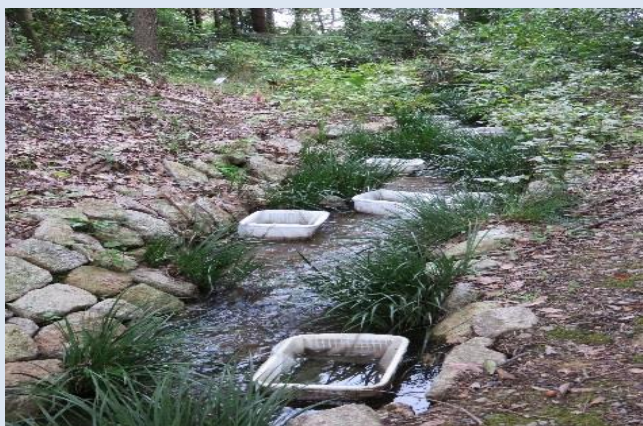


地元の在来種の樹木が植樹され、恵まれた自然の中で ホタルの住みやすい環境が整えられている。

敷地内池よりポンプアップされ、小川に注がれている。



• ホタルのえさとなるカワニナの飼育



• ホタルの幼虫の天敵ザリガニの捕獲対策



• ショールーム、製造ラインの案内は、お客様へのホスピタリティーを目的に、入社1年～3年のすべての社員が対応して下さるとのことです。今回も技術担当の方が案内してくださいました。

工場ラインでは従業員の皆様自らが手作りされた省エネの工夫を見学させていただきました。

工場内写真撮影禁止のため、写真の掲載はご容赦ください。



閉会のご挨拶



南部環境事務所 海東所長



甲賀環境事務所 明石所長

ご参加いただきました皆様



最後になりましたが受入いただきましたダイキン工業株式会社の皆様、ご参加頂きました皆様誠に有り難うございました。